

2月23日（月）

神の御前に価値あるもの

聖書朗読 I ペテロ 3:1～9

柔和で穏やかな霊という朽ちることのないものを持つ、心の中の隠れた人がらを飾りに
しなさい。これこそ、神の御前に価値あるものです。 I ペテロ 3:4

7歳の女の子が彼女の祖母に言いました。「私、13歳になったら、整形手術を受けなきゃいけないの」。祖母が「どうして？」と孫に聞くと、「年を取ったら、美しさをとりもどすために整形手術を受けなきゃいけないのよ」。

神がお考えになられる「美しさ」と世間一般が考える「美しさ」は大きくかけ離れています。真の美とは、(整形手術に必要な)薬品ボトルや注射器、外科的処置等から得られるものではありません。美とは中に隠れているものであり、それは熱心な信仰により示される柔和で穏やかな霊のことです。

サラは神を正しく理解していたことで知られています。アブラハムとサラに対する神の約束が成就するのに25年かかりました。神の約束に対する献身ぶりで知られるこの二人以上に美しい人はいるでしょうか？

あなたのまわりに神に全てをゆだねるという隠れた美をあなたに示している人はいますか？ 彼らは表を飾ることをしないため、その美しさは目に見えません。彼らは毎日、いかなる状況でも神様に全てを捧げています。もしこのような人があなたの周りにいるのなら、あなたの人生にサラがいることであなたは祝福されています。

若い世代の人々にはサラのようなお手本となる人が必要です。あなたがサラになってみませんか？

讃美歌 17

祈り 親愛なるご在天のお父様。私たちの前にいた信仰深く偉大な人々が持っていた美しさを私も持てますように。外見ではなく人柄によって美をお示しになられたイエス様というお手本に感謝致します。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョシュ・バーネット
テネシー州 ナッシュビル

今日の力

2015年2月23日～3月1日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月24日(火)

あなただからこそできる

聖書朗読 IIペテロ 1:5～9

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。 マタイ 5:16

結婚カウンセリングに通ったことがあるのなら、「忘れないで下さい、今日があなたの残りの人生の始まりです」を一度は聞いたことはありませんか。

私はよくこの言葉を思い出します。本当に多くの「最初の日が」来て、そして霧のように去っていきます。それでもこの言葉は未だに私の心を動かします。

朝起きて、今日は何が起きるかなと考えたりしますか？そして、夜なり、その日にあった出来事を、そして思いがけず出会い、会話をした人の数を数えたことがありますか？

その数に驚きませんか？もし事前に準備をしていたらもう、少し上手にいろいろなことをこなせたと思いませんか？

人生、先のことはわかりません。でも、一日一日を新しい始まりとすればよいのです。全ての出来事を予見することはできません。でも、もし私たちの朝を、私にしかできないことのために私を使ってくださる主のための祈りで始めるのなら、その一日が変わったものになるのは間違いありません。

ペテロが言ったように、真の愛につながる資質があなたに備わり、ますます豊かになるなら、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストを知る点で、役に立たない者とか、実を結ばない者にはなることはありません。挑戦と約束です！

讃美歌 391

祈り お父様。あなた様にとって、自分自身にとって、影響を与えるであろうまわりの人々にとって最良の人になる努力をし続けられるようお助けください。
イエスキリストの御名によって。アーメン。

マージョリー・A・ギリス
ジョージア州 マリエッタ

2月25日(水)

「第四半期」は私のもの

聖書朗読 黙示録 2:10

死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。 黙示録 2:10

私にメールをくれた時の彼女は、90歳を過ぎていました。そのメールは「もういろいろなことができなくなってしまいました…」で始まっていました。彼女の毎日は、聖書と「今日の力」を読み、メールをチェックして、そして祈ることから始まります。彼女が私に言ったその後の言葉が私の人生を変えました。「たくさんのことはできません。でも、あなたがいつ、どこで説教するかを教えていただければ、私はあなたのため、そしてあなたの話を聞く人のために祈ります」。

そして、彼女は本当にそうしてくれました。その後9年間、彼女は（彼女いわく）毎週私につきまとい、私の説教のスケジュールを手に入れました。この彼女の信仰と行いを知って私は強められました。まさか彼女は自分がこんなにも、私や他の人に影響を与えているとは思ってはいなかったでしょう。

神は私たちができないことまでは望んではおられません。しかし、神は私たちができることをすることを期待されています。たとえ人生の「第四半期」に入ったとしても、私たちはまだ身も心も主に捧げることができるのです。知らないうちにあなたも誰かの人生を変えているかもしれません。

讃美歌 第二編 230

祈り 神様。あなた様の御わざにおいて人々をお使いくださる熱意に感謝致します。仕える場を常に見出し、あなた様の御名の栄光のためなら何でも喜んでする心を持てるようお助けください。
イエス様の御名によって。アーメン。

デイル・ジェンキンス
テネシー州 スプリングヒル

2月26日(木)

命を受け入れる

聖書朗読 I コリント 15:12~19

ところで、キリストは死者の中から復活された、と宣べ伝えられているのなら、どうして、あなたがたの中に、死者の復活はない、と言っている人がいるのですか。

I コリント 15:12

死とは避けたい現実で、個人的なことです。死は、悲しみ、不和、衰えの終わりと共に、存在、関係、創造の終わりでもあるため、極めて重大なことです。たとえ生きいくことの辛さを知っていても、選択肢を与えられているほとんどの人が、苦難を死によって終わらせることよりも、生き続けることを選びます。なぜでしょうか？ それは与えられた命をつかんで離したくないという単純で、そして潜在的にある願望からです。友人の一人が年老いた彼女の母について悲しげにこう話しました。「母は高齢で、かなり体調が悪いの。体はもうボロボロであまり長くないかもしれない。でも彼女は生きるために戦っているわ」。

良い知らせ、キリストの福音で欠かせないものは、1人の子が死に、蘇り、再び死ぬことは決してないということです。キリストの復活は人々に信仰をもたらし、私たちの人生をめぐみで満たしてください。そのめぐみを通して私たちは生きています。そのめぐみに中で私たちは死にます。そしてめぐみによって再び生き返り、決して死ぬことはないのです。

キリストにあっては、私たちは命をつかむために戦う必要はありません。永遠の命をキリストは私たちに与えてくださいます。キリストが与えてくださった命を受け入れましょう。日々の生活の中でキリストがくださった命に目を向けてください。キリストが与えてくださった命は永遠で朽ちることはないことを知りましょう。

讃美歌 148

祈り お父様。あなた様のめぐみによってのみ、私たちは永遠の命を得られます。私たちが満たして下さっている愛と御力に感謝致します。

イエス様の御名によって。アーメン。

スティーン・レムリー 1987

2月27日(金)

真の力

聖書朗読 士師記 4:4~14

それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。 ヨハネ 13:14

統治と裁きを行い、命令をくだす人、これが旧約聖書の英雄デボラでした。宿題や食器の後片付け、日々の仕事をやらなければいけないとき「私がデボラだったらなあ。デボラには大切な任務があつて、彼女の賢さは皆が知っていて、誰もが彼女の命令に従うのに」と思ったことはありませんか？ 彼女の名声はとても魅力的です。

フランシス・シェーファーは “No little people, No little places” の中で、「大切なことはただ一つです。それは神の場所において、いかなるときも聖なる者となること」と書いています。デボラも、僅かのお金しか持たない寡婦も、カップ一杯のご飯しか持たない未亡人も、カップ一杯のお水しかない寡婦も同じです。神は神の御心を行う用意のある者はだれでもお使いになられます。神に従う心がある者は誰でもお選びになられます。

あなたは名声があるゆえに特別な試練の場にいるデボラかもしれませんし、誰もが知る有名人ではない普通の人かもしれません。どちらだとしても、あなたがすべきことは神に従順な心を示すことです。神に従順であることは簡単なことではありません。お金持ちや有名人よりも力を持つ神の証人となることを求められます。

私たちの神は、私たちの心を見ておられます。どうかカップ一杯の水が、ピーナッツバターサンドイッチが、法律書面が、科学上の発見が与えられ神の御心で満たさますように。

讃美歌 461

祈り 神様。従順の中でリーダーシップを発揮したデボラのような女性を褒め称えます。

イエス様の御名によって。アーメン。

エミリー・レムリー 1988

2月28日(土)

プ レ ゼ ント を 開 け る

聖書朗読 創世記 1:20～31

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

ヤコブ 1:17

誕生日、結婚式、クリスマス。理由は何であれ、プレゼントを開けるのは楽しいですね。興奮してしまいます。箱を持ち上げて、リボンをほどいて、包装紙をはがして、そして箱を開けて「ウォ！」。

でも、開けてしまえばいつもそこで終わりです。プレゼントの山の底が見え、包装紙が散らかり、それで終わりです。片付けが始まると気が滅入ります。

でも、もし決して空にならない箱があったらどうでしょう？ 蓋をあけると中にはプレゼントがあります。そして箱をひっくり返して、また元に戻すと別のプレゼントが入っているのです。それが永遠と続いて、そして終わりなきパーティが続くのです。

まるでおとぎ話のようです。でも実際に、神は私たちにそのようなプレゼントをくださっています。想像できないほどの沢山の良い物が詰め込まれているので、私たちは決して箱の底を見ることはありません。

神からのプレゼントは命です。ご自身の形に作られた私たちの命です。プレゼントの中には木があり、空があり、雪があり、魚も鳥もいます。猫を飼い、子犬を抱き、馬に乗ります。姉妹、兄弟、母、父、いとこ、祖母と共に過ごす楽しい時があります。そしてそれは神のプレゼントのほんの始まりにすぎないのです。イエス様はたくさんの命をお与えくださいました。神の贈り物である命はあなたの前にあります。喜びと感謝を持ってそれを開けましょう！

陽の指す方へ喜びの音楽が導く

歓喜の歌が響く中で

———ヘンリー バン デューク

讃美歌 71

祈り お父様。命を与えてくださる人。あなた様が与えてくださるという喜びの中で命を受け取ることができるようお助けください。

命であるイエス様の御名によって。アーメン。

エルマー・プラウト 1985

3月1日(日)

アブラハムは出て行きました

聖書朗読 創世記 12:1～9

信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。

ヘブル 11:8

モーゼは連れ出した。ダビデは歌った。ヨブは苦しんだ。トーマスは疑った。聖書では、ある名前にはそれによりそう動詞がついてきます。さしずめアブラハムには、「行った」がふさわしいのではないのでしょうか。

アブラハムは母国ではかなり恵まれていました。彼の父はウルとハランで莫大な一族の富を築いていました。アブラハムに助言をした友人がいたのかも知れませんが、アブラハムは無謀なことをしませんでした。荷づくりして、安全な場所から飛び出すこともせず、その場でじっとしていました。

しかし神はアブラハムを追い出しました。地上でのアブラハムの残りの人生を、アブラハムは幕屋で暮らすことになりました。

神は、私たちを「ウラから」つまり、見せ掛けの安全の中に出ることもなくそこに根ずいてしまっている状況からでよう呼びかけられています。「安全」というただの紙切れを「安全」と思われるセキュリティボックスに入れることはできます。でも、神のみが安全を保障される御方なのです。それ以外のものは虫食いや錆、泥棒たちに持ち去られてしまうとイエス様は私たちに教えてくだっています。

私たちもまた幕屋の住人になります。神が私を信仰へと進むよう呼ばれた時「ウラ」にある物や価値に絡みつく根を持っていたくはありません。私たちは、自身の物語のタイトルには「神に呼ばれたので私は行った」を望みます！

讃美歌 第二編 187

祈り 聖なるお父様。希望と夢をあなた様の中にしっかりと確実に置くことができる信仰を私にお与えください。

私たちのために幕屋を張ってくださるイエス様の御名によって。アーメン。

ケン・ダーハン 1988